

第16回「福祉・環境のまち部会」 会議録

1 開催日 平成29年9月20日（水）9：30～

2 場所 新見市役所3階 第5委員会室

3 出席状況 出席7名

部会長	上前 文昭	出席	副部会長	西田 勝江	出席
委員	大月 礼子	出席	委員	早瀬 正弘	出席
委員	宮地 恵子	出席	委員	栗本 真吾	欠席
委員	鈴江 恵子	出席	委員	前田 道子	出席

4 事務局出席者

総務部協働推進課 2名

5 傍聴者

なし

6 議事内容

1 開会

2 あいさつ

部会長挨拶

3 協議

協議に先立ち、部会長から資料をもとに説明。

事務局から視察候補先について資料をもとに説明。

- ・提言をまとめる方向でこれから内容を詰めていきたい。図なども使う予定である。また、防災士の育成という点についても、私は注目している。現在でも50数名いて、100名程度を目指すといった話もあるようだが、私としては新見市独自の“準防災士”といった制度があっても良いのではと思う。
- ・訓練や研修などは現在でも行っているが、実際に支援をしなければいけない人をどう支援するか、助けるかという観点が必要かと思う。視察先資料にもあった美咲町の小山自治会でも、高齢者の避難支援を行っているようだが、そうした活動が必要だと思う。
- ・実際には、一人暮らしの人でも大部分は家にいると思う。施設には数割しかいないのでは。全体の数から見れば、やはり家にいる人が多いだろう。

- ・実際に訓練をしてみないと、支援される人も不安に思うだろう。
- ・そういう訓練をしておけば、何かあったら誰々が来てくれるといったことがわかって安心感があると思う。
- ・各地区にも役員がいるだろうから、その役員を中心に周囲の人を助けることはできると思う。
- ・小集落で作った防災マップを集約して、大きなマップにしていくということが大事だと思う。
- ・小地域での自主防災体制づくりというものがやはり必要だと感じる。
- ・内容をある程度決めて、テーマを決めても良いのでは。
また、「防災センター設置」ということも各自主防災組織の先導役、リーダー役となる、そうした核になる場所が必要ではないかと思う。
その他、防災に対する工事への支援なども追加してはどうか。
センターを作って、まだ自主防災組織ができていないところの支援などを行うべきではないか考える。
- ・自主防災組織の連絡協議会での活動もこれからいろいろと進んでいくと思うので、それ以外のことで何か提言できれば良いと思う。
- ・前回までの会議や今日、皆さんから伺った意見を中心にまとめていきたいと思う。
テーマは『防災』でとりあえず決定したい。